

ひとみ

発行
相生市教育委員会
(人権教育推進室)
電話 23-7145
令和3年11月号
(第51号)

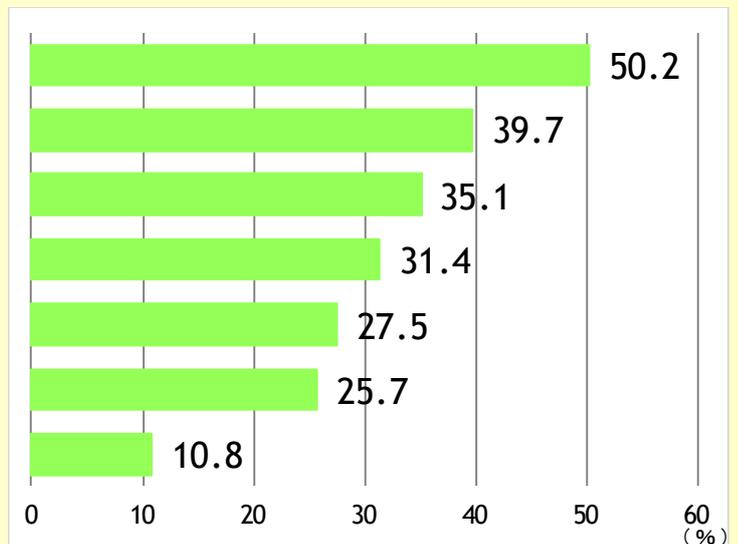
12月4日(土)～10日(金)は人権週間です

【子どもの人権について】

少子化、核家族化、情報化、国際化など社会の急激な変化を受けて、人々の価値観や生活様式が多様化している一方で、人間関係の希薄化、地域社会のコミュニティー意識の低下、過度に経済性や効率性を重視する傾向、大人優先の社会風潮が見られると言われています。このような社会状況の中、子どもを取り巻く環境として、いじめや仲間外れ、心理的虐待やネグレクト(育児放棄)、体罰、子どもを性的ビジネスの道具にする問題など深刻な状況があります。テレビや新聞でも、子どもが被害者となる痛ましい事件事故が報じられています。以下は、兵庫県が県民意識調査の中で、子どもの人権についてどのような問題があるかを尋ねた調査結果(一部抜粋)を紹介しています。ご覧になってどのように感じられましたか。

「子どもに関することで、人権上、あなたが特に問題があると思われるのはどのようなことですか」

- 子どもに心理的な虐待を加えたり、子育てを放棄したりすること
- 子ども同士が「暴力」「仲間外れ」「無視」などのいじめをすること
- インターネットを使ったいじめが起きていること
- 貧困のために進学や就職が困難になったり、健康な生活ができなかったりすること
- 保護者がいふことをきかない子どもにしつけのつもりで体罰を加えること
- いじめをしている人やいじめられている人を見て見ぬふりをする事
- ビデオ、インターネットなどで子どもを取り巻く性情報の氾濫



「県民の人権意識調査(平成30年)」 兵庫県より

子どもは単に年齢が低いというだけで、大人と同様に人権が備わっていること、大人以上に人権が侵害されやすく社会全体で守らなければならない存在であることを、誰もが再認識する必要がありますね。子どもも人権侵害によって傷つき、悩み、苦しんでいます。また、その後の人間形成にも大きな影響を及ぼす恐れがあります。

子どもたちが夢や希望をもつてのびのびと暮らせるまちであり続けるように取り組んでいきたいですね。

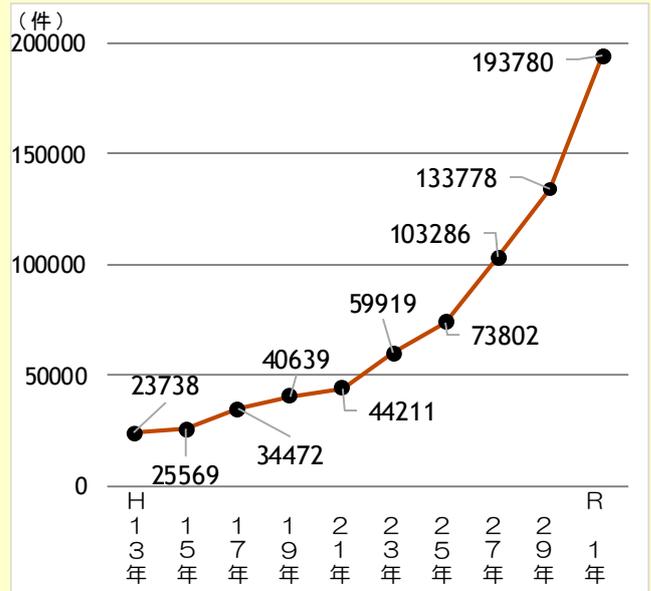


児童虐待について

右のグラフのとおり、児童相談所における児童虐待相談件数は増加傾向にあります。これは、平成16年の児童虐待防止法の改正で、虐待のおそれがある子どもに対して通告ができるようになったこと、虐待に対する市民意識の変化で通報が増加したこと、社会のつながりの希薄化による保護者の孤立や養育力の低下などで虐待自体が増加したことの影響が大きいと言われています。

虐待を受けている子どもたちを守るためには、周囲の大人たちによる早期発見が大切です。虐待防止に向けて、できることを考えてみませんか。

「児童相談所における児童虐待相談対応件数」



「厚生労働省ホームページ」より

「虐待に気づくためのチェックリスト」

虐待に該当し、すぐに連絡（通告）する必要のあるもの	
子どもの様子	<ul style="list-style-type: none"> 不自然な外傷（あざ、打撲、やけどなど）が見られる。 家の外に閉め出されている。 衣服や身体が極端に不潔である。 食事を与えられていない。 夜遅く遊んだり、徘徊したりしている。
保護者の様子	<ul style="list-style-type: none"> 小さい子どもを置いたまま、外出している。 体罰を正当化する。 子どもが怪我や病気をしても医師に診せない。怪我等についても不自然な説明をする。



虐待のおそれがあり、迷わず連絡（通告）する必要があるもの	
子どもの様子	<ul style="list-style-type: none"> いつも子どもの泣き叫ぶ声、たたかれる音が聞こえる。 極端な栄養障害や発達の遅れが見られる（低身長、低体重、急な体重減少）。 季節にそぐわない服装をしいてる。 食事に異常な執着を示す。 ひどく落ち着きがなく乱暴、情緒不安定、過度に緊張し視線が合わない。 気力がない。表情が乏しく活気がない（無表情）。 態度が怯えていたり、大人の顔色をうかがったり、避けたりする。 家に帰りたくないそぶりをする。 誰かれなく大人に甘え、警戒心が過度に薄い。
保護者の様子	<ul style="list-style-type: none"> 地域や親族などと交流がなく孤立している。 子どもの養育に関して拒否的、無関心である。 年齢不相应な養育（しつけ）を正当化する。 子どもに対して拒否的な発言をする。 気分の変動が激しく、子どもにかんしゃくを爆発させる。 夜間徘徊などを黙認する。



「虐待に気づくためのチェックリスト」（東京都）より

児童相談所虐待対応ダイヤル「189」について

- 電話番号 「189」
- 虐待かもと思ったときなどに、すぐに児童相談所に通告・相談できる全国共通の番号です。
- 「189」にかけると近くの児童相談所につながります。
- 通告、相談は、匿名で行うこともでき、通告、相談した人、その内容に関する秘密は守られます。
- 子ども達や保護者のSOSの声をいち早くキャッチするため、通話料は無料で、24時間つながります。

相生市近隣の児童相談所
姫路こども家庭センター
電話（079）297-1261



「厚生労働省ホームページ」より



新型コロナウイルス感染症が発見されて以来、外出自粛により自宅で過ごす時間が増えたと言われています。家族と過ごす時間を有効活用し家族の理解や絆を深める機会とした家庭もあれば、食事の準備など生活上のストレスや閉塞感が増加し虐待につながってしまった家庭もあります。子どもへの虐待は特定の家庭で起こるわけではなく、どのような家庭であっても起こってしまうおそれがあります。また、虐待の原因は様々ですが、一人で苦しみ悩み続けた結果が、子どもへの虐待となって現れてしまった保護者が多いと言われています。子どもと同様に保護者も助けを求めています。

社会全体で子ども達を見守る意識を高め、子ども達が安全安心に過ごすことができる社会を実現したいですね。

PTCA活動実践発表会・人権ふれ愛シネマ

日時 12月5日（日）13：00～16：00
※人権ふれ愛シネマの部 14：10～16：00
場所 相生市文化会館扶桑電通なぎさホール（大ホール）
作品 家族の日 入場無料
出演 伊原剛 田中美里
内容 家族に悩みを抱える君原家は、東京から山村へ引っ越します。考えていた田舎暮らしと実際の生活とのギャップに戸惑いながらも、そこで出会う人たちとの交流の中で、家族の絆を見つめ直すきっかけを手に入れます。東京から山村へ引っ越した家族に訪れたひと夏の物語です。



令和3年度 相生市内在学の児童・生徒による人権作品の紹介

★人権作文の部 特選受賞者と作品

ふれあいを大切に

双葉小学校 6年 住田 若葉

今は以前とは大きくちがう生活になってしまいました。他学年の子たちとふれあえる状態ではなく、まして同学年の子とさえみんなが集まるのが困難です。もう元の生活にはもどれないのではないかと、そしてこの生活が一生続くのではないかと、自分も感染したらどうしよう、そんな不安さえおぼえます。ずっとマスクをつけて生活をしているので、お互いの表情が分からないし、何を考えているのか気持ちも分かりにくいです。

私は六年生になり、かわいい一年生の入学式に参加しました。一年生は初め、きんちょうとしてあまり話してくれなかったけど、体力テストなどの交流で最後に手をふってくれて、すごくかわいらしかったです。一年生の一学期は学校生活に何とか慣れようとする大切な時期です。そんな時期に一年生に充実感を味わってもらうにはどうすればいいかと考えました。そこで私たちのクラスは交流会をすることにしました。一年生が分かりやすいようにルールを作り、楽しみやすいような遊びにしました。みんなが真剣に創りあげた企画で楽しそうに遊んでくれたことが何よりうれしかったです。マスクで顔を見ることはできなかったけど、マスクをしても分かるような満面の笑みが見えました。大変な時期でも楽しんで学校に来てほしいなと改めて感じま

した。そして一年生以外の子ともふれ合いたいと思いました。

このようなコロナ禍でも気持ちがあふれ合える方法を皆で考えていくことが、とても大切です。今はいろんな制限があるけれど、皆の知恵を出し合えば、できることがきっとあると思います。小学校もあと半年と少しとなりました。その残りを密はさけても、心だけはぎゅっと密な状態で過ごしていきたいです。

特選受賞者

小学校

学校	学年	氏名	作品名
中央	1	近田 心輝	おもいやりってなんだろう
中央	2	西村 紗永	とうきょうオリンピックを見て
若狭野	3	長治 すず	さべつをなくしたい
青葉台	3	元西 紗良	いのちの大切さと家族
那波	4	鷹金 美咲	ふだん思っていること
那波	5	岡本 倫和	勇気ある行動の大切さ
双葉	6	住田 若葉	ふれあいを大切に

中学校・高等学校

学校	学年	氏名	作品名
双葉	1	志摩 娃帆	その人は悪くない
矢野川	2	保手濱元基	素の自分
那波	3	藪内 瞳	言葉によって
双葉	3	山下 悠太	思いやりの連鎖
相生高	2	南 拓慎	障がい者と共に生きる
相生産高(全)	3	井上 豪士	出産



思いやりの連鎖

双葉中学校 3年 山下 悠太

僕の近所には、外国から来られた親子が住んでいます。以前、母が地域の役員をしていたとき、交流する機会があり、多くのことを感じました。

ある日、母のもとに電話があり「地域の回覧板が回ってこないのですが、どこかで止まっていませんか。」という内容でした。役員だった母は、あちこちに電話をして、回覧板の行方を探していました。すると、回覧板が外国人の親子の家で止まっていることに気づいたのです。母と一緒に家を訪ねてみると「回覧板が回ってきたのですが、これをどうしたらよいかわからなくて困っています。日本語が難しく書いてあることが読めないのです。」と英語交じりのカタコトの日本語で、申し訳なさそうに話されていました。母はゆっくり回覧板の内容を説明し「こちらこそ気配りが足りなくてごめんなさい。」と謝っていました。帰りに「もう日本に長くおられて、日本語がわかると聞いていて、ついつい当たり前のように回覧板を回してしまっただわ。いつも困っている人がいないか気配りをしないとだめだった。」と僕に話していました。

今回は、災害などのように、命に関わるような回覧ではなかったけど、もしこれが、もっと大切な情報で、外国人の方々が取り残されてしまったらどうなるんだろうと想着って少し

心配になりました。

その後母は、連絡事項がある度に、ほかの役員の方と協力して、そのお宅に出向き、ゆっくりと説明していました。とてもいい方で、みんなとすぐに打ち解け、楽しそうに会話をしておられました。

その秋の運動会では、保護者の競技のメンバーにも立候補され、

地域の輪に入り活躍されていました。夏祭りでも、その方にあつたとき、僕は勇気を出して話しかけてみました。「日本は楽しいですか。」

すると、「日本の人はみんな親切です。お祭りも楽しいし、日本が大好きです。」と返ってきました。僕はうれしかったです。

国は違うけど、そんなことは関係ないなと思いました。お互いがお互いの立場に立って物事を考え、思いやりをもって接すると、すぐに心が通じ合います。この交流を通して学んだことを生かして、僕にできることはないか、周りの気配りを大切にしたいです。



★人権ポスターの部 特選受賞者と作品



中央小1年 中岡 慎之介



矢野小2年 福永 信康



青葉台小2年 管川 実桜



相生小3年 伊原 琴



双葉小4年 川口 陽菜乃



若狭野小5年 二見 琉以



双葉小6年 宮下 遥



双葉中1年 身野 ほのか



双葉中1年 ミドルミス マックス真人



那波中1年 岡本 紗和



双葉中2年 松岡 月海



矢野川中2年 三木 琴乃



矢野川中3年 花田 真希

★人権標語の部 入選受賞者と作品

あいさつは 笑顔の花を 咲かせるよ	相生小	5年	久我 陽向
思いやり みんなにあったら うれしいな	那波小	5年	小林 空大
一人ぼっちのお友だち 小さな勇気ですくわれる	双葉小	5年	小西 陽太
話してごらん きつとごごくよ 君の思い	若狭野小	5年	秋津 爽羽
思いあおう ふざける時も 相手の気持ち	矢野小	5年	室井 香穂
大丈夫？ 小さな声でも 大きな力	青葉台小	5年	坂中 優希
笑顔の輪 はなれていても 心でつながろう	中央小	5年	稲葉 柚奈
声かけで 防げるかもね みんなでね	相生小	6年	谷口 丈太
ありがとう みんな笑顔に なる力	那波小	6年	入江 優羽愛
あいさつは 心に花咲く 第一歩	双葉小	6年	土井 颯大
ひじょうやくく あかるいこころ	えがおさく	6年	立花 凌大
「大じょうぶ」 そのことばから すくわれぬ	矢野小	6年	西浦 香耶
いじめの芽 少しの勇気で 引き抜こう	青葉台小	6年	保手浜 里埜
考えよう あなたの一言 相手の気持ち	中央小	6年	橋口 叶希

さしだそう 小さな手でも 大きな手	那波中	1年	岡本 和心
思いやり 笑顔の花を 咲かす種	双葉中	1年	藤野 紗衣
いろんな色が あっていい	矢野川中	1年	室井 美郁
気づいてよ 「いじり」はいつか 「いじめ」になると	那波中	2年	前川 直輝
気をつけて いじめといじりの 境界線	双葉中	2年	竹田 日和
「いじる」だけ 「め」がないだけで 一緒だよ	矢野川中	2年	川本 理子
あたたかい 言葉をかけよう 自分から	那波中	3年	新田 珀翔
「これが普通」 世界の基準は きみじゃない	双葉中	3年	三浦 妃菜乃
笑顔は連鎖する だから僕から始めよう	矢野川中	3年	小林 洋晴
ちょっと待て そのメッセージ 必要か	相生高	1年	石堂 裕也
その言葉 面と向かって 言えますか	相生産高(全)	1年	瀬戸 うらら
小さな思いやり 小さな変化が 人を変える	相生産高(定)	1年	山本 健聖
怖いのは ウィルスよりも その一言	相生高	2年	藤野 愛菜
広げよう 心のサイズ LLに	相生産高(全)	2年	増田 幸成
ありがとう ごめんなさい 素直に言えば みんなハッピー	相生産高(定)	2年	新堀 航大
肌の色 色がなんだよ 中身だろ	相生産高(全)	3年	林 魁聖
性別 見た目 関係ない 心と心で会話しよう	相生産高(定)	3年	垣見 峻丞

人権クロスワードパズル

このクロスワードパズルは、すべてカタカナが入ります。タテ・ヨコのカギをヒントにパズルを解き、★印のついている4つの文字を並びかえて、クロスワードの答えを考えてください。

【 答 え 】 「〇〇〇〇」

相手が不快な気持ちにならないように、気にかけて配慮する〇〇〇〇が大切ですね。

【プレゼント】 正解者の中から抽選で、「こころくんカレンダー2022」を30名に進呈します。

【応募要領】 はがきかFAXかメールで、以下のことを記載の上、応募ください。

- ①クロスワードの答え ②郵便番号 ③住所 ④名前 ⑤電話番号
⑥年齢 ⑦本誌へのご意見・ご感想

※応募の際に得ました個人情報につきましては、プレゼント発送以外では使用いたしません。

【しめきり】 令和3年12月3日(金)《必着》

【 応 募 先 】 〒678-0031 相生市旭1丁目3-18

相生市教育委員会人権教育推進室

電話 0791-23-7145

FAX 0791-23-7148

メール jinkenkyoiku@city.aioi.lg.jp

1	2			3	4
			5		
6		7			
	8			9	
10				11	12
13					



2022 こころくんカレンダー

《タテのカギ》

2. 粘り気が強く、もちや赤飯に適した米。
3. 重さの単位。1キログラムの1000倍。
4. 飼いならした鵜を使ってアユなどをとる漁法。長良川のこの漁法が有名。
5. ウリ科の植物。実は太く長い。実を腐らし繊維だけにして、たわしとして利用。
7. おやつなどちょっとした買い物、ゲームや漫画など娯楽に充てるお金。子どもが金銭感覚を身につける機会にもなります。
9. 物理、化学、生物などの内容を学ぶ教科の名前。
10. お母さん、ママの別の言い方。
12. 50円硬貨の表にデザインされている植物名。

《ヨコのカギ》

1. 包丁、はさみなど刃がついていて、ものを切ったり削ったりする道具のこと。
3. 東京タワーなど高くそびえる建造物。法隆寺「五重の〇〇」は現存する日本最古の木造建造物。
5. ものの性質、状態、形、様子などが変わること。
6. 家庭や職場など、ある場所にいるときの感じや気持ち。「〇〇〇〇の良い家庭」
8. 網やフィルターなどがゴミやほこりなどで詰まってしまうこと。
11. 二枚貝の一種。海のミルクと言われ、相生湾でも養殖される冬の味覚の一つ。
13. 女兒の初正月を祝い、厄災や病気にあわず、無事に成長することを願うための飾り板。